

## 大きな成長への積み重ね

副校長 武内 伸輔

秋らしい澄み切った晴天の下、5月に行われる予定だった猿楽体育祭2021を10月23日(土)に実施することができました。

私は5月の体育祭練習と10月の練習を職員室や、校庭で見学していました。5月に比べて、どの学年も素早さが増していたり力強い動きになっていたり、より高度な作戦を立てたりしていました。そして当日は練習の成果をしっかりと発揮していました。

5月にできなかったときは残念な気持ちでしたが、数か月の間に着実に成長している姿を見ることができた10月の体育祭でした。

今年は運動会から体育祭に形態を変えて3年目です。

10月26日(火)に猿楽体育祭2021の閉会式を行いました。その終わりの言葉で代表児童の6年生が

「体育祭では様々な場面で支えてくださった方々がいます。主事さん方や先生方、保護者やPTAのみなさん。見えないところで僕たちを支えてくださる方々に感謝の気持ちを持ち、それを言葉にして表していきたいです。みなさんも、心だけでなく声に出して感謝を伝えていきましょう。」

と述べていました。

「自分たちで考えて行動する体育祭の中で感じたこと。感じたことを言葉にすることの大切さ。そして、みんなで一緒に行動していこう。」という思いが言葉の中に表れていて、「子供たちが自主的、協働的、創造的に取り組む」ことができる体育祭を通して猿楽小学校が目指した成長が児童に確実に根差していることが感じることができました。

毎日、顔を見合わせていると、日々の小さい成長を見逃し、「なんでできないの。」とか「いつも同じことばかりで叱っている。」などと、つい思ってしまうかもしれません。しかし、小さくても確実な成長は、将来の大きな成長につながっています。日々の成長をしっかりと見守っていきたいと感じています。

11月は学校公開を行う予定です。お子さんの成長したところを見付けたり、今後の成長につなげられるような発見したりする時間にしていただきたいと思います。

